

【新刊書籍】『ケアマネジャーが「8050問題」の支援で迷ったときに読む本―ケアマネジメントプロセスごとに「いつ」「なにを」「どうする」がよくわかる―』発刊！

親と子、それぞれの状況やリスク、支援が困難化しやすい原因を知り、明日から適切な支援を実践できる！

法律関連出版物、各種データベースを提供する第一法規株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：田中 英弥）は『ケアマネジャーが「8050問題」の支援で迷ったときに読む本―ケアマネジメントプロセスごとに「いつ」「なにを」「どうする」がよくわかる―』を2024年5月30日に発刊いたしました。



様々なケースがあって対応が難しい「8050問題」について、ケアマネジャーとしてどう対応すればいいかをわかりやすく解説！

「解説編」では「8050問題」の全体像や支援において必須となる他の社会資源との連携について解説し、ケアマネジメントプロセス毎に支援する際の留意点や、対応のポイントを丁寧にまとめました。

「ケーススタディ編」では「8050問題」の家庭の支援を併発する問題別に取り上げ、具体的な支援の流れを説明しています。

★商品の詳細、購入はこちら！★

- ・（第一法規ストアサイト）

https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104875.html?utm_source=prtimes

- ・ Amazonでの購入はこちら！

<https://amzn.asia/d/ewe0VGE>

・楽天での購入はこちら！

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17848110/>

・紀伊国屋WEB STOREからの購入はこちら！

<https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784474094444>

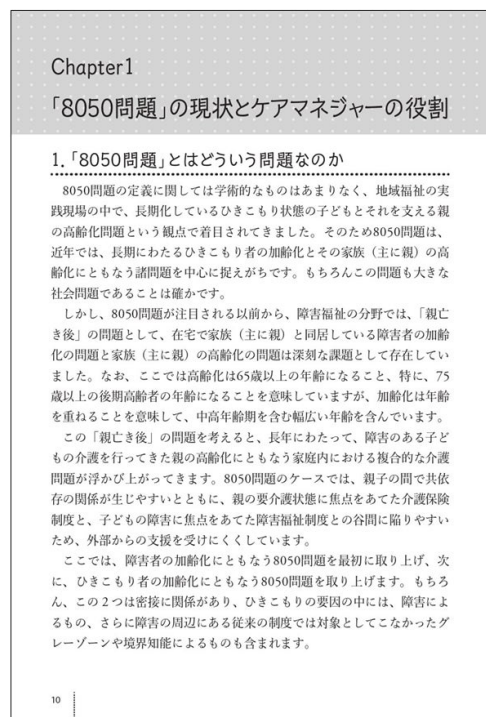
●【本書のPOINT】

①「8050問題」の背景や原因をわかりやすく解説！

そもそもどういう問題なのか、どういう要因で発生し、どういうリスクがあるのかを改めて知ること

で、

支援方法のヒントが見つかる！



②ケアマネジメントプロセスに沿って支援のポイントを丁寧に解説！

インテーク、アセスメント、ケアプラン作成、サービス調整、モニタリングといったプロセスで注意すべき点がわかる！

〔第2表〕 居宅サービス計画書(2)

第2表		居宅サービス計画書(2)										作成年月日	
利用者の氏名 A 君													
生活全般の 解決すべき課題 ニーズ	長期目標 (時期)	短期目標 (時期)	サービス内容 H1	サービス内容 H2	頻度	期間	[50] が具体的な介護 等が可能な場合は、イン フォーマルな援助内 容として設定						
下宿先の息子に お世話をお願いし、 近所での生活を 継続していく	長期目標 ● リハビリや通院 ● 生活リズムを整え、 安定して暮らすこと を支援する ～1年以内 ～1年以内	短期目標 ● リハビリや通院 ● 生活リズムを整え、 安定して暮らすこと を支援する ～1年以内 ～1年以内	サービス内容 H1 ● リハビリや通院 ● 生活リズムを整え、 安定して暮らすこと を支援する ～1年以内 ～1年以内	サービス内容 H2 ● リハビリや通院 ● 生活リズムを整え、 安定して暮らすこと を支援する ～1年以内 ～1年以内			[50] への支援の部分						
家事や生活の 負担を減らすこと を支援する	長期目標 ● 家事や生活の 負担を減らすこと を支援する ～1年以内 ～1年以内	短期目標 ● 家事や生活の 負担を減らすこと を支援する ～1年以内 ～1年以内	サービス内容 H1 ● 家事や生活の 負担を減らすこと を支援する ～1年以内 ～1年以内	サービス内容 H2 ● 家事や生活の 負担を減らすこと を支援する ～1年以内 ～1年以内			[50] への支援の部分						
息子について 心配している。今後 の生活や生活につ いて相談できる 場所を探したい	長期目標 ● 息子について 心配している。今後 の生活や生活につ いて相談できる 場所を探したい ～1年以内 ～1年以内	短期目標 ● 息子について 心配している。今後 の生活や生活につ いて相談できる 場所を探したい ～1年以内 ～1年以内	サービス内容 H1 ● 息子について 心配している。今後 の生活や生活につ いて相談できる 場所を探したい ～1年以内 ～1年以内	サービス内容 H2 ● 息子について 心配している。今後 の生活や生活につ いて相談できる 場所を探したい ～1年以内 ～1年以内			[50] への支援の部分						

※1 「相談先」が対象かどうかの区分について、相談先が対象内サービスについては○印を付す。
※2 「当該サービス提供を行う事業所」について記入する。

【生活全般の解決すべき課題（ニーズ）】

■記載内容

「息子について心配している。今後の仕事や生活について相談できる場所がほしい」

■ケースの詳細

ケースでは、生活全般の解決すべき課題（ニーズ）として、ひきこもっている息子について相談先につなげることも整理しました。
「50」の課題についての最終的な目標は、親へ依存することなく自立して生活することです。しかし、そのことに向けての支援は「50」の支援先の役割となりますので、ケアマネジャーの役割は、「50」の相談先へつなぐことが目標となります。したがってケアプランでは「50」を相談先へつなげ、「80」の不安の軽減を図ることがこの段階でのニーズとなります。

③具体的なケーススタディで支援の流れや対応方法がわかる！

現実 に 即 した 事例 を 6 つ 取り 上げ、 具 体 的 な 支 援 の フ ロー を 学 べ る！

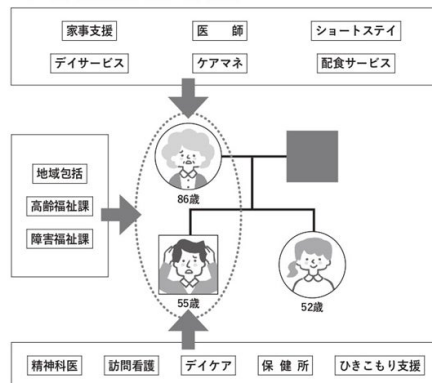
ワンポイントアドバイスもあり、重要な点がわかりやすい！

Case3

認知症を持つ親と同居する子がうつ病を発症し、ひきこもりになってしまったケース

概要

母86歳、長男55歳、長女52歳（別居）



- ・母親は認知症状（短期記憶障害）を認め、同居の息子が健康診断と称して物忘れ外来に受診し軽度認知症（MCI）の診断を2年前に受ける（その際別居の娘はさほど気に留めず）。
- ・息子は母親をサポートする生活を送っている。以前は職を転々と

にも状況を報告し、今までよりも訪問の頻度を増やして様子を見てくれるようになりました。母親は、困っていることなどを姪には素直に話してくれるようになったため、姪がケアマネジャーや相談支援専門員とのつなぎ役をしてくれています。今後は地域包括支援センターとも連携し、母親の成年後見制度の利用について検討していく予定です。

ワンポイントアドバイス

母親と娘とが共依存の関係にある8050問題に対してケアマネジャーと相談支援専門員が連携しながら対応していった事例

この事例では、相談支援専門員とつながっている高次脳機能障害の娘に対して献身的に介護してきた母親が、自身の転倒・骨折にもかかわらず、娘への心配から入院しないという希望を持っており、娘の担当の相談支援専門員に連絡が入りました。他方、相談支援専門員は、母親には介護保険サービス利用の可能性があるため、地域包括支援センターに連絡しました。相談支援専門員と地域包括支援センター職員が一緒に自宅訪問し、母親・娘の意向を確認し、母親が入院しないで2人で生活するための方策を考えるようにしたことは家族からの信頼を得る点で重要です。その後の支援の展開では、サービス担当者会議において、母親・娘双方の支援に関わる事業者が集まり、ヘルパーによる「支援者連絡ノート」さらに「ホワイトボード」を用いて絶えず連絡調整をしながら進めたことも効果的です。このように「見える化」しながら支援を進めていくことによって、母親と娘との共依存関係の中にあっても、姪との信頼関係が培われ、姪が家族内のつなぎ役になってケアマネジャーと相談支援専門員の支援の展開を円滑にしたことは重要な点です。

190

● 【目次】

【解説編】

第1章 「8050問題」を理解する

Chapter 1 「8050問題」の現状とケアマネジャーの役割

- 1 「8050問題」とはどういう問題なのか
- 2 障害者の加齢化にともなう「8050問題」
- 3 ひきこもり者の加齢化にともなう「8050問題」
- 4 ひきこもり者を抱える家庭の支援の現状
- 5 ケアマネジャーの役割と期待

Chapter 2 「8050問題」の背景理解

- 1 家族の変化
- 2 ひきこもりになる要因
- 3 対象分野ごとに分断されている支援体制
- 4 対象分野ごとに分断されている支援体制から重層的な支援体制へ

Chapter 3 「8050問題」が持つリスク

- 1 リスクに対して支援者が持つべき視点
- 2 虐待・マルトリートメント
- 3 金銭問題
- 4 共依存
- 5 「親亡き後」の問題
- 6 セルフネグレクト

Chapter 4 なぜ「8050問題」の支援は難しい？

- 1 ケースによって異なる「8050問題」の原因の見極め
- 2 「子のひきこもり」というセンシティブな話題への介入
- 3 ひきこもりの当事者である「50」側との関わり方の難しさ

第2章 多職種連携で目指す「8050問題」解決の最適解

Chapter 1 「8050問題」で重視すべき社会資源

- 1 「8050問題」の支援における社会資源の考え方
- 2 社会資源の種類と役割

Chapter 2 「8050問題」支援のゴールとは？

- 1 「80」と「50」の支援における最適解を探す

Chapter 3 多職種との情報共有、状況確認

- 1 多職種間のやり取りを促進するケアマネジャーのチームマネジメント
- 2 連携における具体的な取り組み

第3章 プロセス別「8050問題」支援のポイント

Chapter 0 「8050問題」の支援の入り口を知る

- 1 支援の全体像を把握するために
- 2 「8050問題」における相談の入り口
- 3 ケアマネジャーの役割とは

Chapter 1 インテーク・アセスメント時の情報収集

- 1 最初の関わりの重要性
- 2 インテーク：ケアプラン作成のための初回面談
- 3 アセスメント時におけるポイント
- 4 「50」側、家庭全体との関係性の構築
- 5 家族アセスメント

Chapter 2 ケアプラン作成・サービス調整

- 1 「80」のケアプラン作成、サービス調整
- 2 「50」側の支援調整
- 3 多職種連携

Chapter 3 実際の支援とその後

- 1 支援の実施にあたっての注意点
- 2 支援開始後の情報共有
- 3 モニタリング時のポイント
- 4 今後求められるケアマネジャーの役割

【ケーススタディ編】

Case 1 長期のひきこもりの子がいる家庭で、親が高齢になったケース

Case 2 長期的にひきこもっている子が、高齢の親に虐待をしているケース

Case 3 認知症を持つ親と同居する子がうつ病を発症し、ひきこもりになってしまったケース

Case 4 親の突然の病気で同居の娘のひきこもりが判明し、治療に影響が出たケース

Case 5 子を献身的に介護する親自身に支援が必要になったことで、共依存の関係が顕著となり、望ましい支援が難しかったケース

Case 6 地域との交流がなく孤立してしまい、他者の介入や支援を拒否しているケース

★商品の詳細、購入はこちら！★

- ・（第一法規ストアサイト）

https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104875.html?utm_source=prtimes

- ・ Amazonでの購入はこちら！

<https://amzn.asia/d/ewe0VGE>

- ・ 楽天での購入はこちら！

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17848110/>

- ・ 紀伊国屋WEB STOREからの購入はこちら！

<https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784474094444>

【商品概要】

『ケアマネジャーが「8050問題」の支援で迷ったときに読む本
ーケアマネジメントプロセスごとに「いつ」「なにを」「どうする」がよくわかるー』

監修：小澤 温・大村 美保

定価：2,530円（本体2,300円＋税10%）

仕様：A5判・204頁

発売元：第一法規株式会社

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000707.000059164.html>

第一法規株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/59164

【本件に関するお問合せ】

第一法規株式会社 販売促進第三部

TEL：03-3796-5474

MAIL：welfare_support@daiichihoki.com